
CentreCOM[®] **3726**

バージョンアップ手順書

はじめに

CentreCOM 3726 をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本書は、CentreCOM 3726 に新しいバージョンのソフトウェアをダウンロードする方法について説明しています。

ソフトウェアのダウンロード方法は、TFTPを使用する方法と、XModemを使用する方法の2種類です。

TFTP はネットワーク上のシステムに短時間でファイル転送を行うことができます。XModemは、コンソールからローカル(RS-232経由)で、ソフトウェアにアクセスしている場合に、メニューを使用して簡単にダウンロードすることができます。

本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、CentreCOM 3726 付属のマニュアルもあわせてご覧ください。

マニュアルバージョン

1998 年 8 月 Ver 1.0 pl 0 初版

ご注意

本書の中に含まれる情報は、当社(アライドテレシス株式会社)の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。当社は、予告無く本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。また、改良のため製品の仕様を予告無く変更することがあります。

Copyright アライドテレシス株式会社 1998

商標について

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。本マニュアルの中に掲載されているソフトウェアまたは周辺機器の名称は、各メーカーの商標または登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

1 TFTP を使用したダウンロード方法

TCP/IPネットワークのシステム間では、TFTPを使用するとソフトウェアを短時間でダウンロードすることができます。

ここでは、TFTPアプリケーションを使用して、ローカルホスト(PCまたはワークステーション)からリモートホスト(CentreCOM 3726)へイメージファイルをコピー(Put)する方法を説明します。

用意するもの

- ・ ダウンロードするイメージファイル
- ・ TFTPアプリケーションが実行できるPCまたはワークステーション
- ・ CentreCOM 3726 本体

ダウンロード手順

1. ローカルホスト(PCまたはワークステーション)およびCentreCOM 3726に、IPアドレスが設定されていることを確認します。
2. ローカルホストとCentreCOM 3726が、ネットワーク上で通信可能な状態にあることを確認します。
3. ローカルホストのTFTPクライアントから「put」を実行します。

 TFTPアプリケーションのプラットフォームは、GUIを持ったものや、コマンド入力が必要なものなどさまざまです。TFTPアプリケーションの使用方法については、Memo マニュアルなどをお読みください。

一般的なコマンドラインは次のようになります。

```
tftp <direction> <local_file> <host> <remote_file> <mode>
```

<direction> 「put」を指定します。

<local_file> イメージファイル名を指定します。

<host> リモートホスト(CentreCOM 3726)のIPアドレスを指定します。

<remote_file> CentreCOM 3726 に設定されているダウンロードパスワード(Download Password)を指定します。

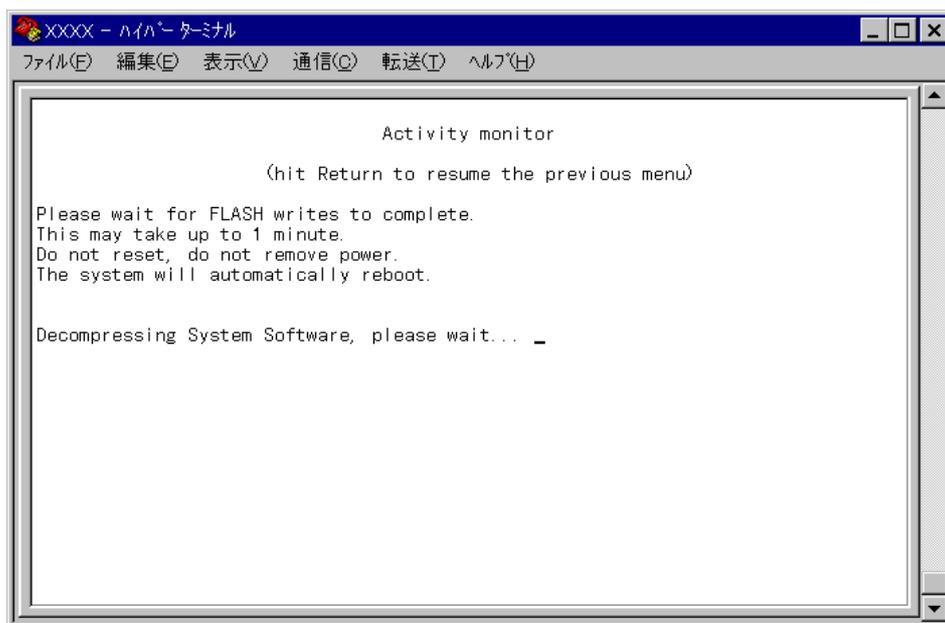
ダウンロードパスワードのデフォルトは「ATS20」です。

 **参照** オペレーションマニュアル 2-26 ページ「IPパラメータ」

<mode> バイナリ転送モード(octet、imageなど)を指定します。

1 TFTP を使用したダウンロード方法

4. ファイル転送が正常に終了すると、画面上には次のように表示されます。
このとき、リセット(本体前面のリセットボタンを押す / 電源ケーブルを抜く)を行わないください。
約 1 分後、CentreCOM 3726 は自動的にリセットします。



5. 本体がリセットされ、セルフテストの経過が画面に表示されます。
画面上に「(press RETURN once or twice to enter Main Menu)」と表示されたら、 キーを 1、2 回押します。
6. メインメニューが表示されます。
7. 以上で、ダウンロード作業が終了しました。
System administrationメニューからDiagnosticsメニューオプションを選択すると、ソフトウェアバージョンを確認することができます。

 オペレーションマニュアル 2-38 ページ「システム診断」

2 XModem を使用したダウンロード方法

コンソールからローカル(RS-232 経由)で、ソフトウェアにアクセスしている場合、「XModem software update to this system」メニューオプションを使用して、新しいバージョンのソフトウェアを簡単にダウンロードすることができます。

ここでは、ターミナルエミュレーション・ソフトウェアとして Windows 95/NT の「ハイパーターミナル」を使用している場合のファイル転送方法を説明をします。

用意するもの

- ・ ダウンロードするイメージファイル
- ・ コンソール(Windows 95/NT が動作する PC またはワークステーション)
- ・ CentreCOM 3726 本体
- ・ RS-232 ストレートケーブル

ダウンロード手順

1. コンソールの RS-232 コネクタと CentreCOM 3726 本体前面のターミナルポートを RS-232 ストレートケーブルで接続します。

 ハードウェア設置マニュアル 2-6 ページ「コンソールを接続する」

2. コンソールおよび CentreCOM 3726 の電源を入れます。

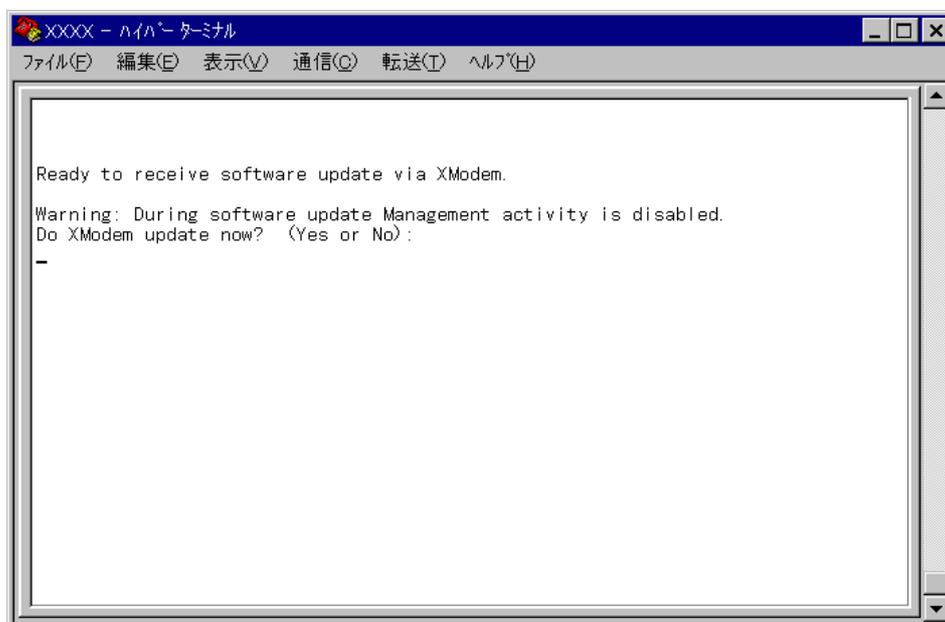
3. ハイパーターミナル(Hypertrm.exe)の設定を行います。「オペレーションマニュアル」を参考にしてください。

 オペレーションマニュアル 1-4 ページ
「Windows 95/NT の「ハイパーターミナル」の設定手順」

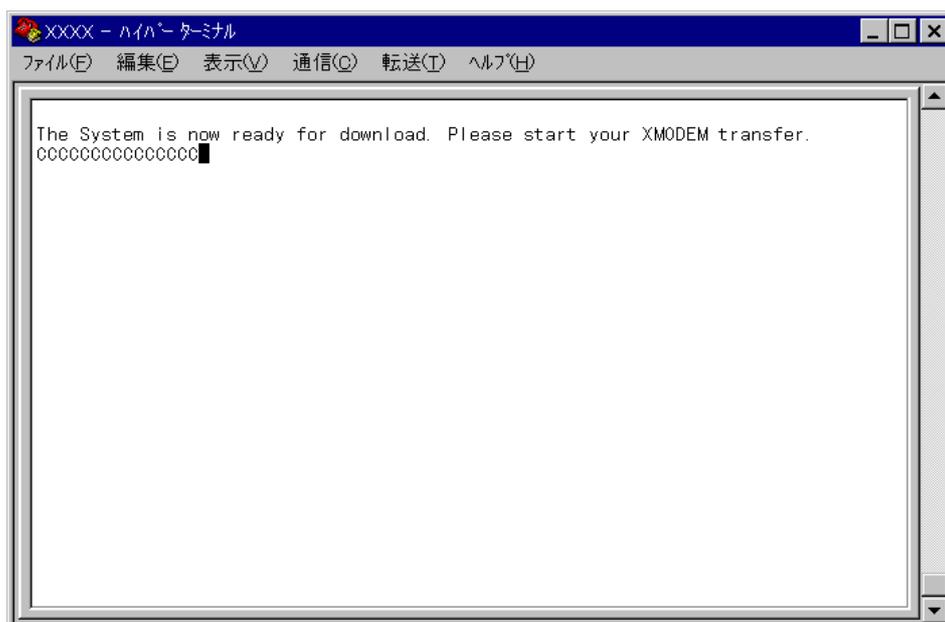
4.  キーを 1、2 回押すとメインメニューが表示されます。

2 XModem を使用したダウンロード方法

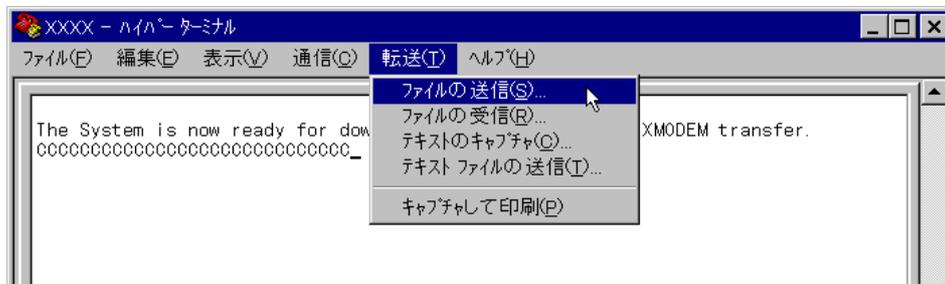
5. System administration メニューから XModem software update to this system メニューオプションを選択すると、次のような画面が表示されます。



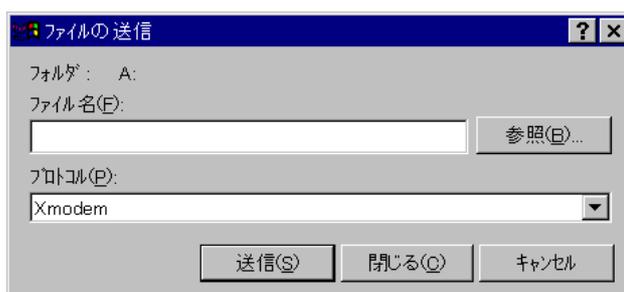
6. XModem によるダウンロードを行うかどうかの確認メッセージが表示されます。実行する場合は「Y」を入力してください。
7. 「Y」を入力すると、次のような画面が表示されて、ダウンロードソフトウェアが起動します。



8. [転送] メニューから [ファイルの送信] を選択します。



9. 「ファイルの送信」ウィンドウが表示されます。
[ファイル名] 欄にイメージファイル名を入力して、「プロトコル」欄はプルダウンメニューから「Xmodem」を選択します。
最後に、[送信] ボタンをクリックします。



10. [送信] ボタンをクリックすると、次のような画面が表示されて、ファイル転送を開始します。



2 XModem を使用したダウンロード方法

11. ファイル転送が正常に終了すると、CentreCOM 3726は自動的にリセットします。セルフテストが終了して、画面上に「(press RETURN once or twice to enter Main Menu)」と表示されたら、 キーを 1、2 回押します。
6. メインメニューが表示されます。
7. 以上で、ダウンロード作業が終了しました。
System administrationメニューからDiagnosticsメニューオプションを選択すると、ソフトウェアバージョンを確認することができます。

 オペレーションマニュアル 2-38 ページ「システム診断」

 不具合が発生するなどしてダウンロードが失敗した場合は、本体前面のリセットボタンを押すか、電源ケーブルを接続しなおしてシステムをリセットします。
Memo リセットした後に、Extended diagnostics test(拡張システム診断テスト)が実行される場合があります。その場合は、「B」を入力してB: BOOT System Software オプションを選択して、再度リセットを行います。

 オペレーションマニュアル 2-39 ページ「拡張システム診断テスト」